

理 科 部 門

■総 評■

今年の特徴を一言で言えば、継続的に、より深くテーマを掘り下げた力作が数多く寄せられたことでしょう。自分自身の興味や疑問をもとに、主体的に課題に取り組むという、自由研究本来の目的が、確実に成長を始めたことが感じられます。

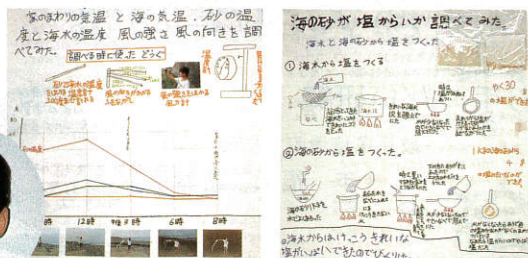
これは、児童・生徒一人一人の努力もさることながら、かげで支えてこられた先生方のご指導のおかげでもありましょう。

次回も、きっとすばらしい作品が寄せられることを信じてやみません。

文部大臣奨励賞

海辺と家のまわりの植物と生き物

神奈川県茅ヶ崎市立浜須賀小学校
3年 守屋 昂



ほとくの家は海から直線きよりで350mぐらいです。家のすぐ西に松林があり東に空地があります。

ほとくの家まわりと小和田浜公園内の松林と空地、海辺の松林と空地の生き物と植物のちがいを調べることにしました。

虫も植物も自分のすみやすいところにすんでいるのがよくわかった。秋になったら、海辺のよしずの中やネットの中にカマキリのたまごがあるかどうか調べたいと思う。虫はすきだから名前はすぐわかったけど植物の名前を調べるのが大変だった。



■選 評■

地域の自然への関心とそこに見つけた疑問点の探究を模造紙21枚にまとめ上げた力作です。動植物のスケッチの細かさもさることながら、砂浜に動植物が少ない理由について、砂の温度、風の強さ、砂の塩からさという仮説をもとに研究を進める手法に非凡なものを感じました。ぜひ多くの人に見ていただきたい作品です。

ONE POINT アドバイス



京都府城陽市立深谷小学校
四年 日尾 泰平
「アゲハちょうの観察」

自分で見つけたアゲハチョウの幼虫がふ化するまでを観察した愛情あふれる記録ですが、通り一遍の記録になりすぎているようです。もっと自分なりの疑問点を追求したら、より充実した記録になるでしょう。

理科部門入賞者 文部大臣奨励賞

優秀賞

「海辺と家のまわりの植物と生き物」(神奈川県・浜須賀小三年 守屋昂)

優良賞

「紙つてふしき」(岐阜・柳津小三年) 奥村明浩

「アゲハの研究」(福井・中河小五年) 中野順子・中野智子・斎藤朝香

「電磁石の研究」(岐阜・柳津小五年) 山田真也

「野菜から紙を作る研究」(岐阜・境川中一年) 小川祥子

「赤キャベツ指示薬の研究」(茨城・並木中三年) 科学部 赤キャベツ班

「佳作」(「ほとくのせん水かん」(大阪教育大学教育学部附属天王寺小一年 駿田尚志「月のかんさつ」月つてふしきだよ」(岐阜・長良西小二年) 橋詰雄一朗「続じしゃくはおもしろいな」(岐阜・柳津小二年) 笠井貴敏「ほとくのザリガニ」(岐阜・柳津小二年) 武山修三「風車の力くらべ」(岐阜・柳津小三年) 小川哲治「オジギソウの研究」(岐阜・長良西小四年) 日江井佐知子「一年間の夕日の観察」(奈良・郡山南小四年) 山本真也「メダカの研究」(岐阜・柳津小五年) 安田智博「土の中で分解するものの研究」(東京学芸大学附属小金井小六年) 土橋啓之「酸性雨の研究」(神奈川県・今宿小六年) 中村彰宏